

中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き



中央区まちかど展示館

江戸の職人技を守る商人のまち

日本橋 Part.2

浜町・堀留町・富沢町・人形町

【特集】
中央区とオリンピック・
パラリンピック

先代から引き継いだものを令和の時代へ
まちかど展示館訪問



人形町通りから隅田川のエリアをご紹介します！
日本橋エリア散策 Part.2



Facebook公式ページ
f 中央区まちかど展示館

ホームページURL
<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>



季刊誌『中央区まちかど展示館』Information

…………… 既刊Vol.01~Vol.06もダウンロードできます ……………



Vol.01
日本橋編



Vol.02
銀座・京橋 / 月島編



Vol.03
総集編



Vol.04
月島編



Vol.05
日本橋編 Part.1



Vol.06
銀座・京橋編 Part.1

中央区まちかど展示館ウェブサイト
季刊誌ダウンロードページ

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html>

次号Vol.08は
日本橋編 Part.3です。
江戸文化を今に伝える各展示館を
訪問します。お楽しみに！

◎発行日：2019年12月4日

◎発行：中央区まちかど展示館運営協議会（中央区区民部文化・生涯学習課内） tel：03-3546-5346 mail：b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

◎制作：Asaba & Co ◎デザイン：CAN DO CREATION ◎撮影：kt-design ◎文：秋元祐子 ◎イラスト：堀口珠美

✂ キリト

POST CARD

1 0 4 - 8 4 0 4

恐れ入りますが
63円切手を
貼って
お出しください。

中央区築地1-1-1 中央区役所6階（文化・生涯学習課内）
中央区まちかど展示館運営協議会
中央区まちかど展示館アンケート 係行

差し支えない範囲でご記入ください。
お答えいただいた個人情報、本紙アンケートの目的のみに使用されるもので、その他に使用することはありません。

◎ご住所 〒

◎お名前

◎電話

◎職業

◎性別 男・女

◎年齢



6 銀座4丁目

銀座4丁目の百貨店の前。各国の国旗を掲げて東京オリンピックを演出。



8 晴海埠頭

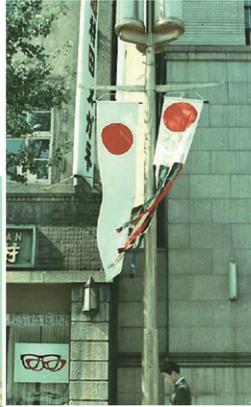
東京の海の玄関口・晴海埠頭では、東京国際貿易センター（現在は閉場・移転）の建物もお祝いムードに。

世界の人々がやって来る!

首都美化の総仕上げとして、大会中はオリンピックシンボルや万国旗が街中に飾られました。
(写真:すべて昭和39年10月)

5 日本橋室町3丁目

中央通りの室町3丁目の様子。街のあちこちに東京オリンピックを祝う旗がたなびきました。



7 晴海通り

晴海通り沿いに建てられた大きな歓迎のモニュメント。

1964 (昭和39年)



前回の東京オリンピックでも東京の中心地として多くの人々を迎えた中央区。当時を写真で振り返ります。

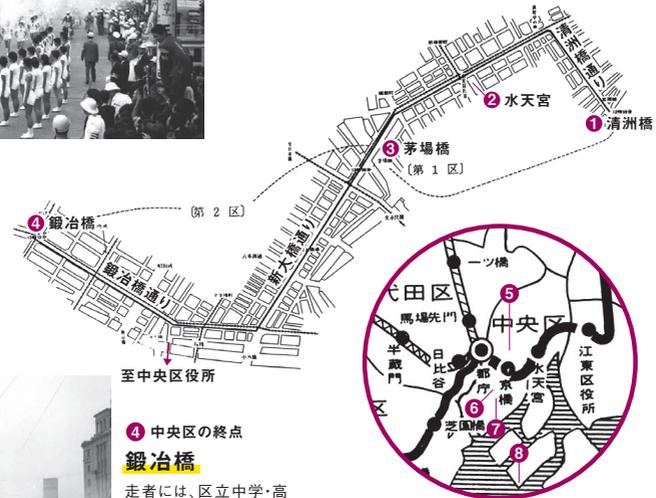
1 中央区のスタート地点

清洲橋

白バイが先導するオリンピック聖火を第1区の走者が待ち受けます。



清洲橋で江東区から引き継いだオリンピック聖火は、浜町や水天宮を経て、茅場橋で第2区の走者へ。新大橋通りから鍛冶橋通りを走り、鍛冶橋で千代田区へリレーしました。(中央区広報[9/25号]より)



オリンピック聖火リレー

オリンピック聖火リレーは昭和39年10月7日に中央区へ。区報でも事前に、来たるオリンピック臨時特集号が発行され、ますます東京オリンピックへの期待が高まりました。

至中央区役所

4 中央区の終点 鍛冶橋

走者には、区立中学・高校等から運動能力に優れた10代の男女計46名が選ばれ、オリンピック聖火リレーの栄誉を担いました。(鍛冶橋交差点にて)



2020 (令和2年)



東京2020オリンピック・パラリンピックでは、晴海が選手村に決定。大会期間中は世界各国のアスリートが大勢中央区に宿泊して過ごします。



厳しい警備の元、宿泊棟が建設されています。大会後はマンション等となり新たなまちとして生まれ変わります。(令和元年10月)



現在の日本橋。高速の側面にある「日本橋」は第15代将軍、徳川慶喜の書いた橋柱の銘板の文字を切り貼りして横に並べたもの。

折り鶴ウェーブ 中央区おもてなしプロジェクト

大会時に中央区を訪れる方に、平和と日本文化の象徴である折り鶴を渡すおもてなしの取り組みです。あなたも東京2020大会に関わる一員として参加してみませんか?

折り鶴大募集中!

1.紙を用意して鶴を折る

15×15cmのサイズなら紙は自由。(営利や特定の主張を目的とした紙は使用できません)

2.回収箱に入れる

回収箱は中央区役所本庁舎、日本橋・月島特別出張所に設置されています。(12/27(金)締切予定)

3.大会時に折り鶴配布

国内外から中央区を訪れる方々へ配布します。

【お問合せ】
中央区企画部オリンピック・パラリンピック調整担当課
☎03-3546-5226

変わるまち

東京オリンピックへ向けて東京は急ピッチで都市化され、中央区の景観も一変しました。



路面電車も走る日本橋の上に首都高速都心環状線が建設される様子(昭和38年)。完成を急ぐため道路や川の上を高速道路にしたのです。

この道路の
奥が日本橋



東京タワーが
うっすらと...

昭和30年に船の係留施設が完成していた晴海埠頭でも周辺の整備がさらに進められました。当時は晴海から東京タワーが根元まで見えます。(昭和38年、晴海埠頭の建設工事)

来年が待ち遠しい! ついに来るスポーツの祭典と中央区の関わりをご紹介します。
中央区とオリンピック・パラリンピック

写真提供... 中央区立京橋図書館

染物展示館・虎の檻

現代の可能性も楽しむ濱甲高虎の心意気。



浜町公園前に店を構える濱甲高虎。前身は日本橋人形町で「紺屋」と呼ばれた染元で、今もその技術を受け継ぎ、染色まで関わりながら半纏、手ぬぐい、合財袋などを製作しています。



35年程前、現在作業場になっている店の3階にて、2代目が開いた半纏の展示会の様子。



店の前の角に立つ初代の高橋虎雄さん。



中央のショーケース内にまちかど展示館の展示が。型彫りや染色の道具、図案の見本帳など店に伝わる貴重な品が並びます。



2代目欣也さんは各地の祭りに参加し、バイク、版画、唄…と生涯楽しんだそう。



染色のための型を作る工程。1つ1つ手作業です。



2代目が残した型を使って手彫りしたオリジナル年賀状も販売中。

私が子供の頃、浜町公園は原っぱ対馬。走ったり跳ねたりして遊びましたよ。



お話を伺った方

職方 高林 晋さん
代表取締役 高橋 由布さん



ずらりと揃う手ぬぐいは選ぶのも楽しい。干支柄をお正月のインテリアにしてみても？



東京2020のエンブレムに採用された市松模様を洒落たバッグに。日の丸カラーの水玉柄とあわせて、オリンピックイヤーの記念におすすめ。



新しいがま口タイプ。「古典柄は力があります。ポップな色でも違和感がなく逆に面白いんです」と高林さん。



商いの街らしくソロバンの珠が並ぶ伝統柄「日本橋」。高林さんデザインのTシャツでは珠1つをVゾーンに残し、袖に小さな「BRIDGE」を2つ。洒落心を声高に主張しないのも江戸流です。



染物展示館・虎の檻

管理者：
有限会社高虎商店
(平成26年度認定)

- 東京都中央区日本橋浜町2-45-6
- 03-3666-5562
- 月～土曜日(祝日・年末年始を除く)
- 9:00～18:00(土曜日のみ17:00)
- 浜町駅A2番出口 徒歩1分
- <http://www2.gol.com/users/ip0611031455/>
- 【年末年始の展示館および店舗の営業】
- 年内:12/28(土)17:00まで
- 年始:1/6(月)9:00より



らTシャツやバッグも手掛けています。(高林さん)

— 扱う商品が変わったのですね

昭和とは商品も浜町の街もだいぶ変わりましたが、今の文化や空気感にも沿わないと。江戸の頃だつて変化に応じてモノを作っていたんですから。けれど私達には伝統というバックボーンがちよつとある(笑)。商品が変わっても流れているものは一緒。そういう良さや財産をどう活かすかが問われているんじゃないかな。(高林さん)

— 東京2020オリンピックについては？

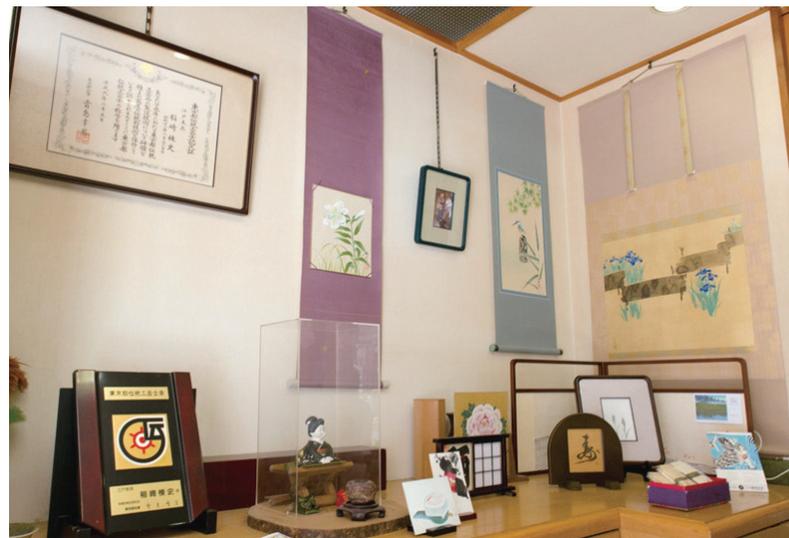
前回の東京オリンピックは私の生まれる前ですが、父は体験したと思います。今回は東京2020オリンピックに合わせて市松模様と水玉模様の品を増やしました。どちらも元々うちで作っていた伝統柄です。で、藍色の市松はトートバッグに、水玉は色を変えて国旗風にしました。(高橋さん)

— 先代の時代と今の違いは？

1階に店を作ったのは平成8年。昭和23年にここに開業したのは初代の祖父・高橋虎雄で、最初は絹物の卸専門でした。(高橋さん) ちょうど「ガチャマン景気」といわれ、絵師を呼んで柄を描かせ、型屋、染屋など専門職に分かれた職人達を使って絹織物をどんどん作って売った時代です。昭和の終わり頃、2代目の時に正絹の売れ行きが落ち太物(綿の反物)に主軸を移したようで、半纏や合財袋等も作り始めました。15年程前から

江戸表具展示館

大経師の称号は経新堂稲崎の誇り。
世襲の技術と獨創性が粋な江戸表具を生み出す。



掛け軸、屏風、額装等の表装を行う経新堂稲崎は、天保年間から続く老舗。当初は大工町といわれた日本橋2丁目にあり、表具師筆頭格の「大経師」として名字帯刀を許されました。



明治17年に作られた江戸の表具師の番付表。東の大関に「稲崎新八(しんぱち)」とあります。江戸だけでこれ以上いた表具師が、今も残る名は5~6人に。



近年は近くの荒汐部屋に見学に来る外国人が多く、その後に寄ってみたい場所のガイドマップやアプリを周辺の商店街と共に作っています。



4代目の祖父・稲崎新八さん。稲崎の店主は代々新八を襲名していました。旧店舗は空襲で焼失し現在地へ移転。



5代目を継いだ父の棟史(むねちか)さんが「経師」と「新八」から「経新堂稲崎」という店名に。



戦後の焼け野原から拾って使い続けている焼き印。招き猫の後ろ姿は、初代の頃から経師の道具に押し印した家紋のようなものです。



四角い紙の画を団扇型に仕立てた5代目棟史さんの表装作品。「このさっぱりした感じが江戸の粋。書が中心だった京表具は金欄を全体に使う煌びやかなものが多いのですが、色のある浮世絵で発展した江戸表具はとても細く使えます」と知伸さん。



元の作品 → 修復 → 表装

古い画に修復やシミ抜きを施した後、新しく表装をした例。描かれた当時の美しさをよみがえらせ、表具でさらに引き立たせます。



表具に使う裂地(きれじ)の見本帳。このほかに経新堂稲崎には長年受け継いできた何百反という貴重な裂があり作品に合わせて選んでもらえます。

大学を出たばかりの息子が店を継いでくれる予定です。今はIT系の仕事を学んでいます。



お話を伺った方
稲崎 知伸さん

江戸表具展示館

管理者:
経新堂稲崎
(平成26年度認定)



- 📍 東京都中央区日本橋浜町2-48-7
- ☎ 03-3666-6494
- 📅 月~土曜日(祝日・年末年始等を除く)
- 🕒 9:00~18:00
- 🚶 浜町駅A2番出口 徒歩1分
- 🌐 <http://www.kyoushindo.com/>
- 【年末年始の展示館および店舗の営業】
- 🗓 年内:12/28(土) 18:00まで
- 🗓 年始:1/6(月) 9:00より

に伝わる作品をお持ちになるお客様も多いです。うちで手を入れれば百年残すことができますので。
— 家業を継がれた理由は? —
仕事場を通じて育ちましたので必然的に(笑)。うちは表装中心にやっていますが経師はふすまや障子も手掛けるため、私はトータルに内装を扱えるように建築設計を学び、いったん就職もしたんです。親父から100を受け継いだら120にしたいという想いがありましたね。

— 東京2020オリンピックへ向けては? —
前回の東京オリンピックでは日本が大きく変わりましたね。今回はより多くの外国の方がいらっしやるので、浜町商店街連合会でもどう迎えればいいのか検討しています。
— 浜町の移り変わりは? —
まず街が違います。マンションやホテルが多くできましたが、私が幼少の頃は明治座の周りは黒塀の料亭街で、学校帰りに芸者さんといれ違ったりしました。江戸の昔は鼠小僧次郎吉が盗みに入ったという武家屋敷です。今のことに加え、こういう歴史も伝えたいですね。
— 経師の仕事とは? —
表具を製作するだけでなく古い書画を修復して後世に伝える仕事でもあります。かつ後にまた修復できることが重要です。今は合成糊を使い機械で圧着する機械表具もあり、これだともう剥がすことはできないんですよ。江戸や明治時代のものに痛みが出る頃なので、家

イチマス田源 呉服問屋ミュージアム

蚊帳の行商から始まり織物中央通りのシンボルへ。
200年以上着物文化を支える老舗問屋の足跡。



織物中央通りの田源ビルに本社を構える田源は、文化13年(1816年)に近江国(滋賀県)で創業。1階エントランスホールの奥がまちかど展示館コーナーです。



最初の東京店があった長谷川町(現在は日本橋堀留町)と記された戦前の荷箱。「昭和30年代までは段ボールを留めるビニールバンドがなく麻縄や藁縄を使っていました」と田中さん。



江戸時代を中心に、田源の長い歴史の中で実際に使われた商売道具、書類、日用品等、貴重な品々が展示されています。



田源の代表は代々「源治」の名を襲名。同社の歴史を歴代の源治さんごとにまとめた資料も展示されています。



創業者の初代田中源治さんは、近江商人の1人として地場産の麻の蚊帳を京都へ行商に行き、帰る時に京の呉服を運んだそう。明治4年、2代目源治さんの時に東京に進出。



大正時代の「問屋ソロバン」は、取引相手から計算を覗かれないように裏板が付いていました。



オリンピック
聖火ランナーの伴走は
とにかく寝たかったわ(笑)
寝がすごく
出ていたんですよ。



お話を伺った方
会長 田中源治さん(6代目)

2階スペースでは、年に数回「問屋開放DAY」として全国から揃えた美しい着物や帯を展示公開しています。また田源では着物のメンテナンスも受付。着物の丸洗い、シミ抜き、寸法直しなどは気軽に相談してみましょ。



大正15年、4代目の時に本社を東京へ。呉服問屋は隆盛を極め、フォードの車を使用していました。



5代目源治さん。田源は昭和13年に東京本社を現在地に移転。空襲や戦後の混乱を経て発展し、昭和49年に現在の田源ビルが完成しました。



イチマス田源 呉服問屋ミュージアム
管理者:株式会社田源 (平成30年度認定)

📍 東京都中央区日本橋堀留町2-3-8
☎️ 03-3661-9351 🕒 月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) ① 9:00～17:00
🚶 小伝馬町駅1番出口 徒歩3分、
🚶 人形町駅A4番出口 徒歩5分
🌐 <https://ichimasutagen.shopinfo.jp/>
【年末年始の展示館および店舗の営業】
◎年内:12/26(木)17:00まで
◎年始:1/7(火)9:00より

「前回の東京オリンピックは? 私はオリンピック聖火ランナーの後で山手通りを走りました。中学のクラスで背の高い生徒達が選ばれてね。今思うと貴重な経験です。」

「堀留町はどんな町ですか? この辺は私が子供の頃からずっと問屋街です。昔は雑貨や寝具等かさばる物を扱う問屋も多く、昭和45年頃には夕方の出荷のピーク時にトラックが道にずらりと並びました。夕方前に歩道の上に50〜60箱をどんどん出しておいて、トラックが来たら即積み込む、雨が降ったら「ソレ入れろ!」でしたよ。」

「昭和時代の呉服問屋とは? 戦後まで着物を中心は銘仙など安価な絹織物でしたが、昭和30年頃から京都の染物屋にどんどん見込み生産をさせる「つぶし屋」という革命的なメーカー問屋が現れ、京友禅の反物が大変仕入れやすくなって東京の呉服問屋も大成したのです。主力が織物から京の染物に変わって単価が上がりました。そして上質で華やかな京友禅がフォーマルとして人気となり、呉服の販売数が減っていく中でも売上のピークは昭和57年前後だったんですね。その頃は今の市場規模の6倍程あり、約半分が京友禅でした。今京友禅はピーク時の1割ぐらいです。この辺りで昔から残る呉服問屋は数社程度になりましたが、着物文化を後世に残すためにも力を尽くしていきたいですね。」

江戸東京組紐 龍工房体験展示館

組紐の技術を究め続ける父の想いと、
すべてを受け継ぎ先を見据える息子の挑戦。



手法やデザインを決めて手組みするだけでなく、染色や純国産絹糸の生産まで携わり、組紐のすべてをプロデュースする都内唯一の工房です。展示コーナーでは、組紐に関連した資料や希少な帯締め等を展示。



組紐の体験講習は初心者にも使いやすい小型の丸台で。(詳細は龍工房へお問い合わせください。)



皇室や歌舞伎界でも長年愛用される龍工房の帯締め。熟練の技による組みが、適度な伸縮性を持つ格調高い帯締めを生み出します。



江戸組紐を代表する丸台を使う3代目の福田隆太さん。天板上(鏡)の糸玉の位置を前後左右対称に交差させては、絶妙な力加減で締めることを繰り返していきます。



絹糸の束を下準備するための五光台。手で組む作業の前に製造工程の約8割の時間がかかります。



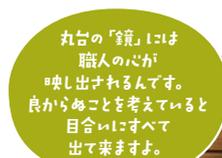
創作組紐一筋に、製作即専門として龍工房を立ち上げた先代の福田万之助さん。



広幅の平組を縫い合わせた大判ストールも新開発。



カメラメーカーと共同開発したストラップは斜格子一間組(ななめこうしいっけんぐみ)。一間組は聖徳太子の束帯などにも使われたそう。



丸台の「鏡」には職人の心が映し出されるんです。良からぬことを考えていると目合いにすべて出て来ますよ。



お話を伺った方
代表取締役 福田 隆さん
ご息 福田 隆太さん



ヘラで打ち込みながら組む高台(たかだい)。平組の紐が出来上がります。



(上)組紐の良さを幅広い方に楽しんでもらいたいと作った携帯ストラップ。(右)スポーツの応援時にも鳴らしたい、東京くみも拍子木。今年の東京マラソンEXPOで中央区観光協会のブースでも販売されました。

江戸東京組紐 龍工房体験展示館

管理者・株式会社龍工房 (平成30年度認定)

- 📍 東京都中央区日本橋富沢町4-11
- ☎ 03-3664-2031 🕒 月~金(祝日・年末年始等を除く)※組紐体験は要予約 🕒 11:00~16:00
- 🚶 人形町駅A4番出口 徒歩2分
- 🚶 浜町駅A1番出口 徒歩7分
- 🌐 <http://ryukobo.jp/>

【年末年始の展示館および店舗の営業】
◎年内:12/27(金)16:00まで
◎年始:1/9(木)11:00より

リエイターとコラボしてさまざまな商品を開発しています。それらは息子の隆太が進めてくれますよ。また私は長年、正倉院の文化財など貴重な古代組紐の復元にも取り組んできました。そういった研究も新しい組紐の技術開発に活かしています。今回はまちかど展示館の認定をきっかけに、一般の方が体験できる「ミニ丸台」を作りました。皆さんも組台に向かい、ぜひ組紐作りに挑戦していただきたいですね。(隆さん)

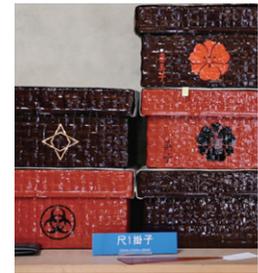
— 前回の東京オリンピックは? —
三輪車に乗って空を見たらブルーインパルスの5つの輪を見つけ、心躍ったのを覚えています。(隆さん)

— 昭和の時代のエピソードは? —
うちは昭和38年に先代が株式会社になりましたが、その前から今まで130年近く帯締めの製作卸をしてきました。戦時中、工場は皆軍需品の生産をしなければなりませんでしたが、組紐がとても丈夫で扱いやすいとパラシュートの紐を作るようになったようです。おかげで戦時中も店の看板を下ろさずにすみ戦争を乗り切ることができました。人の命を守る伝統工芸だったことを誇りに思っています。(隆さん)

— 帯締めのほかに商品は? —
もちろん帯締めが本業で、先代より受け継いだものを決して疎かにしません。近年は組紐の可能性を広げたいとストラップ、ポーチ、傘、文具...と幅広い企業やク

つづら学習館

都内唯一の店が守り続けるつづら作りの職人技。
岩井つづら店に日本の美しい日用品を再発見！



つづらは竹かごを漆で仕上げた蓋付きの収納箱。江戸元禄時代に婚礼道具として庶民に広まったそう。



岩井つづら店は文久年間(1861~63年)に初代・信四郎さんが人を乗せる駕籠(かご)製造として開業。壁際のショーケースにお店の歴史や製作工程が展示されています。



カシュー漆の香りが漂う中、6代目・良一さんの熟練の技を見学できます。天井には製作中のつづらが吊るされ、店内全体が貴重なつづら展示館のよう。(金曜は漆塗り作業のため訪問はご遠慮ください)

つづらのできるまで



竹かごは良一さんのお弟子さん他、信頼のかご職人から仕入れます。



かごの形を整えて竹を補強した後、内側に糊で和紙を貼ります。



外側は傷みやすい角に蚊帳(かや)を貼った和紙を貼り、全体に和紙を。



柿渋などの下地の後、カシュー油を原料とするカシュー漆で仕上げます。内側に化粧紙を貼って完成。

店の前で撮られた昭和初期のお祭りの写真。3代目・岩井平五郎さんにより明治時代に現在地に移転。

修理中のつづら。水につけて和紙を剥がしたところ。



注文に応じて家紋や名前を入れます。



漆の色は黒・朱・溜(ため)の3色。つづらは注文製作ながら、運が良ければ小サイズの在庫があることも。同じ塗りで作る桐製の子箱は在庫があることも多く、見学の記念として購入もできます。

サラリーマンを辞めて30歳から親父を手伝い始めました。塗りものをやるまで15年位かかりましたよ。



お話を伺った方
岩井 恵三さん 6代目当主 岩井 良一さん

つづら学習館

管理者:
有限会社岩井商店
(平成30年度認定)



◎ 東京都中央区日本橋人形町2-10-1
☎ 03-3668-6058 (月)~土(祝日・年末年始等を除く) ※つづら制作のため入店できない場合があります
🕒 10:00~17:00
📍 人形町駅A1番出口 徒歩2分
🌐 <https://tsudura.com/>
【年末年始の展示館および店舗の営業】
◎ 年内:12/28(土)17:00まで
◎ 年始:1/6(月)10:00より

度が低く剥がすのも大変ですが、かごが大丈夫ならまだまだ使えます。修理を頼まれるのは、受け継いだり蔵から出てきたりと思入れのある品ばかりです。(良一さん)

昭和40年代頃までつづらは日用品で近所の人が買いにきました。今は趣味的なものとして注文される方が多いです。毎月第2土日には『和雑貨市』で子箱や和雑貨を並べていますので、ぜひ気軽に訪れてみて欲しいですね。(恵三さん)

— 東京オリンピックの思い出は? —
私は伯母に連れられて駒沢へ女子バレーボールを見に行きました。ブルーインパルス5つの輪は店の前から見ましたね。(恵三さん)

— 街は当時とどう違いますか? —
この辺は呉服屋が多くつづら屋も200軒程あったようですが、今は私の知る限り全国で3軒。1軒はうちに修行に来ていた職人さんが開業しています。(恵三さん)

— つづら作りで変化したことは? —
カシュー漆を使い始めたのは昭和の初期で、戦時中に本漆が枯渇して切り替わったようです。以前の店は地下に本漆を貯蔵する室がありました。和紙を貼る糊は糊屋さんから買うのですが、防腐剤がたくさん入っていて塗っていると目が痛くなった時代もありました。今は品質が良くなりましたね。つづらの修理の際に漆を剥がしてみると新聞紙やクズ紙が貼ってある物もあります。それらは強

気になるお店に寄ってみよう

日本橋エリア 散策MAP

今回は人形町通りから隅田川までのエリアをご紹介します。
まちかど展示館の近くには、まち歩きをもっと面白くする
こだわりのお店がいっぱいです。

07 TESORO (テゾーロ)

>> P17

イタリアに数年住んだという店主が7年前にオープン、どれも美味しいと評判のお店です。プチドルチェも付くランチの Pasta は特にリーズナブルで周辺のOLさんにも大人気♪



07 TESORO

東京商品取引所入口



イチマス田源 呉服問屋ミュージアム
>> P8

05 もんじゃらげ

>> P17

ご夫婦で切り盛りする鉄板焼きと月島もんじゃのお店。プロが焼いてくれるもんじゃはもちろん、築地場外市場から仕入れた新鮮魚介の日替わりメニューに常連さんも虜です。



06 凡味 (ぼんみ)

>> P17

お持ち帰り用の胡麻豆腐と太郎梅を販売している凡味は、呉服問屋だった店を仕切り、昭和55年に姉妹で始めた懐石料理店。レトロな空間で味わう料理は一度に1組限りの予約制。



馬喰横山駅

東日本橋駅

04 TAVERNA MARCO POLO (タヴェルナマルコポーロ)

>> P17

カウンター席の目の前で生地から作られる薪窯ピッツァが食欲をそそります。旬のこだわり食材を使った本場イタリアンとソムリエが選ぶ美味しいワインを満喫したい!



04 TAVERNA MARCO POLO

03 ボタンの博物館

03 ボタンの博物館

>> P16

日本最大手のボタンメーカー、アイリスが収集したコレクションを展示している、世界でも珍しいボタン専門の博物館。小さなボタンから広がる圧倒的な世界観は必見です。



染物展示館・虎の檻
>> P4

01 茂ち月

>> P16

夏みかんの木陰にひっそりたたずむ看板のない和菓子屋さん。店主が1つ1つ作るどら焼きは、手にのせるとずっしり、粒あんがぎっしりで大満足的美味しさです。



02 PAPIER TIGRE (パピエ ティグル)

>> P16

パリのクリエイティブチームから始まったステイショナリーが中心のグッズショップ。個性的なグラフィックのノートは、まち巡りにも持ち歩きたい。カフェコーナーでひと休みも。

02 PAPIER TIGRE

06 凡味



江戸表具展示館
>> P6

01 茂ち月



染物展示館・虎の檻
>> P4



江戸東京組紐
龍工房体験展示館
>> P10



つづら学習館
>> P12

おすすめスポット

地元の人に愛されるのはもちろん、
遠方からも人が訪れる素敵なお店で
ランチやお買い物を楽しもう。



イチマス田屋 異服問屋ミュージアム
田中さんおすすめ

アットホームな空間で
美味しいパスタを堪能

パスタや窯焼きピッツァ他、オーナーシェフが作るイタリアの味にリピーターがいっぱい。品数豊富な前菜盛り合わせにはワインが進みます。普段のランチにもぴったりのお店です。

TESORO (テゾーロ)

◎住所 / 中央区日本橋大伝馬町11-12 ドメス日本橋大伝馬町ビル1F
◎TEL / 03-3249-1400
◎営業時間 / 11:30~14:00
平日17:30~22:30 (L022:00)
日祝17:30~21:00 (L021:00)

◎土定休、日・祝はディナーのみ



つつら学習館
岩井さんおすすめ

白い胡麻豆腐は気品の味
太郎梅は優しい甘味として

約40年前、料理研究家と共に江戸で食された胡麻豆腐と太郎梅のレシピを再現。風味豊かにとろける胡麻豆腐と紀州の梅干を数日塩抜きして煮る太郎梅を看板として開店したそう。他で味わえない江戸の味をご賞味あれ。

凡味 (ぼんみ)

◎住所 / 中央区日本橋人形町2-32-3
◎TEL / 03-3669-4671
◎営業時間 / 11:00~22:00
◎不定休 (お問い合わせください)
数に限りがあるため購入は予約がおすすめです。料理は完全予約制。



染物展示館・虎の檻
高橋さんおすすめ

月島もんじゃを人形町で
名物鯖脳天ステーキも!

築地や芝浦の知人から仕入れるという上質な食材を鉄板焼きで楽しめます。鯖1本から2冊しか取れない希少部位をサッと焼く脳天ステーキは絶品。大量のしらすが入ったシシラスもんじゃや極上もつ鍋も見逃せません。

もんじゃらけ

◎住所 / 中央区日本橋富沢町16-5 SGビルB1F
◎TEL / 03-6231-0098
◎営業時間 / 平日17:00~23:00
日祝16:00~21:00
◎土定休



江戸東京組紐 龍工房体験展示館
福田さんおすすめ

職人技の薪窯ピッツァや
炭火肉料理を食通も絶賛

フランスのグルメ本「ゴ・エ・ミヨ 日本版」2019POPにも選出された同店は、有名ピッツァ職人が手掛けることでも話題。産直の短角牛など厳選素材の炭火料理も人気です。ピッツァ好きなら土日祝ランチがおすすめ♪

TAVERNA MARCO POLO (タヴェルナ・マルコポーロ)

◎住所 / 中央区日本橋久松町9-8
◎TEL / 03-3527-2215
◎営業時間 / 11:30~15:00 (L014:00)
平日17:30~23:00 (L021:45)
日祝17:30~22:00 (L020:45)
◎月定休、火はディナーのみ
ピッツァは平日ランチは休み



中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

各世紀末に発展してきた?
ボタンに宿る文化を学ぶ

高名なボタン研究家の監修によって世界各地の貴重なボタン約2,000個を展示。1度は訪れたい価値ある博物館です。館内は素材や年代順に分かりやすい編集され、ボタンからさまざまな服飾文化を知ることができます。

ボタンの博物館

◎住所 / 中央区日本橋浜町1-11-8 ザ・パークレックス日本橋浜町2F
◎TEL / 03-3864-6537
◎開館時間 / 10:00~17:00
◎土・日・祝定休 ◎入館料必要
完全予約制のため電話で来館日時を予約してください。



中央区まちかど展示館
制作スタッフおすすめ

パリ発のお洒落な文具や
セレクト雑貨に大注目!

トラのキャラクターも小粋なパピエティグルの文具に加え、店内にはハイセンスなデザイン雑貨が揃います。ノート類は限定生産のため気に入った柄はぜひ入手を。お店の一角ではお茶やお菓子を楽しめます。

PAPIER TIGRE (パピエ ティグル)

◎住所 / 中央区日本橋浜町3-10-4
◎TEL / 03-6875-0431
◎営業時間 / 11:00~19:00
◎月定休 (祝日の場合営業)



江戸表具展示館
稲崎さんおすすめ

手作りの味と民家の風情に
心とむどら焼き屋さん

浜町の路地裏に70年以上続く茂ち月。昭和22年築の昭和レトロなお店で店主お1人で手作りをしています。北海道産小豆を使ったどら焼きや栗饅頭は昔ながらの美味しさで食べ応えもたっぷり。数量限定なのでお早目に。

茂ち月 (もちづき)

◎住所 / 中央区日本橋浜町2-52-5
◎TEL / 03-3666-5913
◎営業時間 / 9:30~18:00
◎土・日・祝定休
数に限りがあるため前日までの予約がおすすめです。

おすすめスポットをご紹介します!

まちかど展示館の皆さんから

年末年始の営業は各店にお問い合わせください。

日本橋エリア

06 楊枝資料館

東京都中央区日本橋室町1-12-5 / 03-5542-1905
月～土曜日(祝日を除く) / 10:00～18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



08 小津史料館

東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル / 03-3662-1184
月～土曜日(年末年始等を除く) / 10:00～18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/26(木)14:00まで ◎年始:1/4(土)から



10 小伝馬町牢屋敷展示館

東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内 /
03-3546-5346 (中央区区民部文化・生涯学習課内9:00～17:00)
年末年始等を除く毎日 / 9:00～20:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/4(土)から



12 ゆかた博物館

東京都中央区日本橋人形町3-4-7 / 03-3661-8859
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / ①15:00～②16:00～(2部制・解説付)
年末年始の営業 ◎年末:12/23(月)まで ◎年始:1/20(月)から



14 染物展示館・虎の檻

東京都中央区日本橋浜町2-45-6 / 03-3666-5562
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～18:00(土曜のみ17:00)
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/6(月)から



16 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

東京都中央区日本橋1-19-1 / 03-3278-6611
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 平日◎7:30～19:30 土曜◎7:30～13:30
年末年始の営業 ◎年末:12/30(月)まで ◎年始:1/4(土)から



18 兜町・茅場町まちかど展示館

東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 / 090-2465-4001(10:00～19:00)
通年 / 8:30～20:00

07 Daiichi Sankyo くすりミュージアム

東京都中央区日本橋本町3-5-1 / 03-6225-1133
火～日曜日・祝日・振替休日(年末年始等を除く) / 10:00～18:00
年末年始の営業 ◎展示館にお問い合わせください



09 伊場仙浮世絵ミュージアム

東京都中央区日本橋小舟町4-1 / 03-3664-9261
年末年始を除く毎日 8:00～20:00(店舗は10:00～18:00/月～金曜日)
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



11 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 / 03-3664-5671
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/6(月)から



13 箱崎町箱四町会神輿庫

東京都中央区日本橋箱崎町26-1 / 03-3667-5667(平日 11:00～16:00)
通年 / 8:00～21:00
神輿メンテナンスのため現在休館中



15 江戸表具展示館

東京都中央区日本橋浜町2-48-7 / 03-3666-6494
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～18:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/6(月)から



17 聚玉文庫ギャラリー

東京都中央区日本橋2-7-1 / 03-3272-3801
通年(祝日・年末年始・盆休みを除く) / 10:00～18:30(土日は17:30まで)
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/5(日)から



月島エリア

19 佃まちかど展示館

東京都中央区佃1-2-10先 /
03-3546-5346 (中央区区民部文化・生涯学習課内9:00～17:00)
通年 / 常時開館

20 石川島資料館

東京都中央区佃1-11-8 ビアウエストスクエア1F / 03-5548-2571
水・土曜日(年末年始等を除く) /
10:00～12:00、13:00～17:00(入館は16:30まで)
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/8(水)から



21 勝どき・豊海歴史資料展示館

東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 /
03-3531-0092(11:00～16:00) 090-3529-3712(11:00～16:00)
毎月 第2土・日曜日 / 10:00～16:00

22 ふるさと晴海資料展示館

東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内 /
080-7723-3158(11:00～16:00)
通年 / 常時開館

まちかど展示館

江戸開府以来400年の歴史と伝統を誇る、中央区に伝わる多様な文化資源をご紹介します。

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この魅力を皆様に広く知っていただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館の規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいまみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

新規認定展示館

A 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

令和元年 6月開館
東京都中央区銀座8-7-18 / 03-3571-1715
月～土(祝日・年末年始等を除く) / 平日◎11:00～20:30 土曜◎12:00～19:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/6(月)から

B イチマス田源 呉服問屋ミュージアム

令和元年 4月開館
東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 / 03-3661-9351
月～金(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/26(木)まで ◎年始:1/7(火)から

C 江戸東京組紐 龍工房体験展示館

令和元年 11月開館
東京都中央区日本橋富沢町4-11 / 03-3664-2031
月～土(祝日・年末年始等を除く) 要予約 / 11:00～16:00
年末年始の営業 ◎年末:12/27(金)まで ◎年始:1/9(木)から

D つづら学習館

令和元年 6月開館 ※つづら制作のため入館できない場合があります
東京都中央区日本橋人形町2-10-1 / 03-3668-6058
月～土(祝日・年末年始等を除く) / 10:00～17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/28(土)まで ◎年始:1/6(月)から

令和2年開設予定

E 七宝資料館

東京都中央区銀座5-6-2 / 03-3572-2261
年末年始を除く / 平日◎10:00～18:00 土・日・祝◎10:30～18:30

F 仏壇・仏具の歴史館

東京都中央区銀座7-14-3 / 03-3542-5771
年末年始等を除く / 10:00～18:00

G 渡邊木版画展示館

東京都中央区銀座8-6-19 / 03-3571-4684
月～土(年末年始等を除く) / 月～土◎10:00～18:00 祝日◎10:00～17:00

H 月光荘画材展示館

東京都中央区銀座8-7-2 / 03-3572-5605
年末年始等を除く / 11:00～19:00

銀座・京橋エリア

01 江戸ほうき展示館

東京都中央区京橋3-9-8 / 03-3563-1771
月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 10:00～19:00
年末年始の営業 ◎展示館にお問い合わせください

02 足袋の博物館

東京都中央区新富2-2-1 / 03-3551-0896
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00～17:00
年末年始の営業 ◎展示館にお問い合わせください

03 ミズノプリンティングミュージアム

東京都中央区入船2-9-2 / 03-3551-7595
月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) 要予約 / 10:00～16:00
年末年始の営業 ◎年末:12/20(金)まで ◎年始:1/14(火)から

04 松竹大谷図書館

東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F / 03-5550-1694
月～金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日等を除く) / 10:00～17:00
年末年始の営業 ◎年末:12/25(水)まで ◎年始:1/10(金)から

05 のれん・提灯・下絵の展示館

東京都中央区築地6-5-5 / 03-3541-3741
月～土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く) / 7:30～17:30
年末年始の営業 ◎年末:12/30(月)まで ◎年始:1/5(日)から

スタンプを設置している展示館です。

まちかど展示館MAP

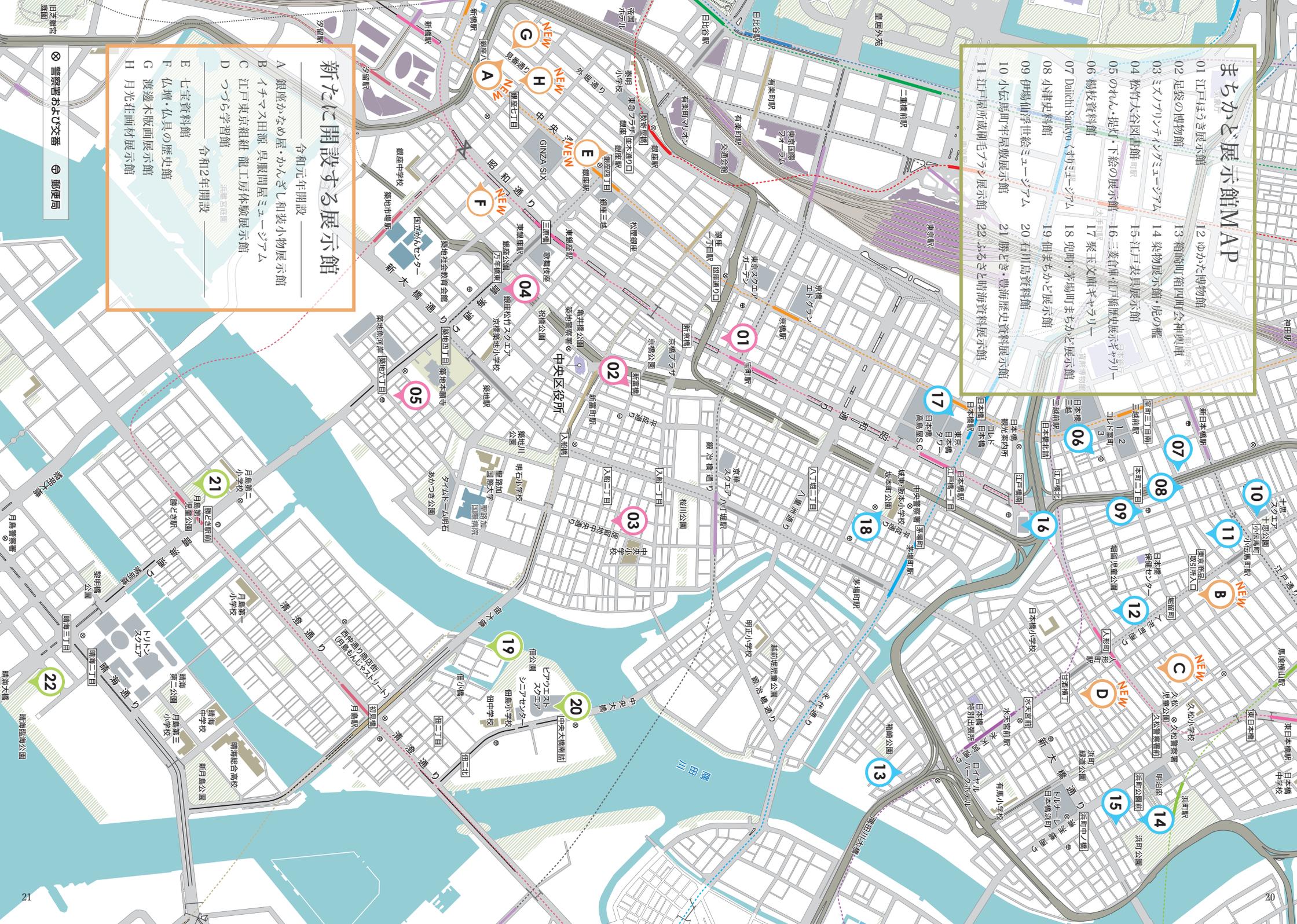
- 01 江戸はうき展示館
- 02 足袋の博物館
- 03 ミスリリソニックミュージアム
- 04 松竹大谷図書館
- 05 のれん・提灯・下絵の展示館
- 06 楊枝資料館
- 07 Daichi Sanjyo (さりミュージアム)
- 08 小津史料館
- 09 伊場仙浮世絵ミュージアム
- 10 小伝馬町作屋敷展示館
- 11 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館
- 12 ゆかた博物館
- 13 箱崎町箱四町会神輿庫
- 14 染物展示館・虎の檻
- 15 江戸玩具展示館
- 16 三菱倉庫 江戸橋歴史展示ギャラリー
- 17 聚玉文庫ギャラリー
- 18 兜町・茅場町まちかど展示館
- 19 佃まちかど展示館
- 20 石川島資料館
- 21 勝とぎ・豊海歴史資料展示館
- 22 ふるさと晴海資料展示館

新たに開設する展示館

令和元年開設

- A 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館
- B イナズマ田源 呉服問屋ミュージアム
- C 江戸東京組組籠工房体験展示館
- D つつら学習館
- E 七宝資料館
- F 仏壇・仏具の歴史館
- G 渡邊木板画展示館
- H 月光柱画材展示館

- ☒ 警察署および交番
- ☒ 郵便局



アンケートにお答えいただいた方から
抽選で毎月5名様に
まちかど展示館オリジナルグッズを
プレゼント!

本誌のアンケートはがきでアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で毎月5名様に、素敵なプレゼントを差し上げます。どうぞお気軽に本誌へのご意見やご感想をお寄せください。

■応募締切とプレゼントの発送

毎月末日(当日消印有効)
当選者様へは、翌月10日前後にプレゼントを発送します。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※アンケートにご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送やご記入者様へのご連絡、また個人が特定できない統計資料の作成に利用させていただきます。個人情報は厳重に管理し、第三者への提供・開示はいたしません。

■アンケートに関するお問い合わせ

中央区まちかど展示館運営協議会(中央区文化・生涯学習課内)
TEL.03-3546-5346

STAMP
01

STAMP
02

中央区まちかど展示館
お年玉
スタンプラリー



本誌のアンケートはがきでアンケートにお答えいただき、展示館2カ所のスタンプを押してご応募いただいた方先着30名様に素敵なお年玉をご用意しました。
年末年始はまちかど展示館を回ってお年玉をゲットしましょう!

■実施館 中央区まちかど展示館20カ所 ※各まちかど展示館の場所は20~21ページの地図をご覧ください。

- 【ご注意】★ 以下の6館については、「お年玉スタンプラリー」に参加しておりません。
⑬箱崎町箱四町会神輿庫 ⑭三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー ⑮兜町・茅場町まちかど展示館
⑯佃まちかど展示館 ⑰勝どき・豊海歴史資料展示館 ⑱ふるさと晴海資料展示館
- 【ご注意】★ 以下の4館は、開設前のためスタンプを設置しておりません。
⑥七宝資料館 ⑦仏壇・仏具の歴史館 ⑧渡邊木版画展示館 ⑨月光荘画材展示館

■応募締切 2020年1月31日(金)

※年末年始の休館情報は18~19ページをご覧ください。

■応募方法 巻末のはがきでご応募ください。

ご応募の際には、お名前・年齢・住所・ご連絡先(電話番号)・メールアドレスを記載してください。



足袋の博物館

※写真はお年玉プレゼントの一部です。

楊枝資料館

紫玉文庫ギャラリー

江戸表具展示館

のれん・提灯・下絵の展示館

■中央区まちかど展示館ホームページ ▶ <https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>

■facebook公式ページ ▶ 中央区まちかど展示館

■まちかど展示館スタンプに関するお問い合わせ
中央区まちかど展示館運営協議会 中央区築地1-1-1 中央区役所6階
TEL.03-3546-5346(中央区文化・生涯学習課内)



キリトリ

キリトリ

1. 本季刊誌をどこでお知りになりましたか?またはどこでお手に取りましたか?
1. まちかど展示館 2. まちかど展示館HP・Facebook 3. 観光情報センター 4. 区施設
5. 区内飲食店、商業施設等 6. 駅ラック(駅) 7. その他() ※複数回答可
2. 記載の「まちかど展示館」に訪れたことはありますか?
1. はい (展示館名:) 2. いいえ
3. 今後、取り上げて欲しいテーマや内容はありますか?
4. 本季刊誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

お年玉スタンプラリー

STAMP
01

STAMP
02